

「体験発表」八月度総幹部会より

新型コロナウイルス罹患、瞬く間に肺が真っ白に
御本尊様の御守護！メクメクで劇的回復

男子部（首都圏）溝口育男
第72隊長

私は昭和四十九年に入信させて頂きました。

以来、数々の重大法戦に連ならせて頂く中、勿体ないまでの大功德を頂き、また一級建築士として各会館の設計・監理にも携わり、そのなか会員の命を大事に思われる浅井先生のご慈愛と広布を急がれては身が引き締まる思いであります。

このたび「更賜寿命」の大功德を頂く貴重な体験をさせて頂きました。

新型コロナウイルス陽性

五月三日ごろから普段よりも倦怠感をおぼえておりましたが、発熱も見られず食欲も普段どおりでしたので、「そのうち治るだろう」と安易に考えておりました。

「会員を守らん」との先生のご慈愛に咽ぶ

手洗いはもちろん、マスクの着用や消毒などの感染対策も徹底して行なっておりましたので、「まさか自分が感染するとは思いません」と思いつつ、感染経路も追えぬ新型コロナの恐ろしさを実感いたしました。

その後、御本尊様に

すべてをお任せする肚を決めると同時に、家族や隊員への感染を心から心配しましたが、同居する妻と孫、母が感染する余儀なくされるも、共に戦う隊員はすべてに御本尊様の御守護を実感したものであります。

その後、御本尊様にすべてをお任せする肚を決めると同時に、家族や隊員への感染を心から心配しましたが、同居する妻と孫、母が感染する余儀なくされるも、共に戦う隊員はすべてに御本尊様の御守護を実感したものであります。

院させてもらったほうがいい」等との確なアドバイスを頂き、さつそく保健所に連絡をいたしました。

時間同じくして、頭正新聞七月二五日号に掲載された「イベルメクチン」の服用を開始いたしました。

今般、頭正新聞七月二五日号にイベルメクチンの期待される効果として

「何なる世の乱れにも、各々をば法華経・十羅刹助け給えと、湿れる木より火を出し、乾ける土より水を出し、人が如く強盛に申すなり」

しかし、そのころはコロナの感染拡大により医療機関が逼迫しており、まして週末ということも重なり、保健所の対応は非常に遅く、担当者からはしばらく何の連絡もありませんでした。

その間、息子の溝口第一六七隊長は万に備えて酸素ボンベを購入して、私のもとに届けてくれるなど、改めて家族の絆を強く感じ、熱涙を禁じ得ませんでした。

有難くも、その日の夜、自宅にほど近い病院に入院することができました。

直ちにCT検査を行なったところ、なんと肺が真っ白になっており、わずかの時間で急変する新型コロナウイルスの恐ろしさを感じ

以上なければならぬところ、一時は九二%まで下がり、自分でも気がかぬうちに呼吸が荒くなり始めておりました。

すぐさま小沼副総男子部長に報告したところ、浅井総男子部長より

「何なる世の乱れにも」

されば、本日これより頂く浅井先生の重大指導を心肝に染め、本年の最終法戦、誓願大勝利の証拠を以て無二の師匠・浅井先生に必ずやお応えしてまいります。



私は高齢の母と同居していることもあり、これまで

大事をとって入院
肺が真っ白に
感染発覚の翌日、症

「新型コロナは一気に重症化して自宅で死亡するケースもあるの

先生の「慈愛にむせぶ

「何なる世の乱れにも」

かくて私は通常よりも早く退院でき、その後

決意であります。